

別紙2 新たに「選定」した建物や庭園

NO	選定番号	区	選定名称	推薦理由（抜粋）
1	第 12-017 号	南	中村家	玄関門とそれに連なる土蔵、手入れの行き届いた庭、その奥にむしこ窓のある大きな本宅がある。腰板張りの色と調和した、白壁が実に美しい。
2	第 12-018 号	北	松井家	大正時代に建てられたと聞いている住宅。夏には襖から風が通り見た目も涼しい葦戸に交換し、また季節ごとに掛け軸を掛け替えて季節の変わりを楽しんでいる。
3	第 12-019 号	中京	いのくち 井ノ口家	井ノ口家は、戦後まで「近江屋」もしくは「井ノ口屋」の屋号を名乗り、絞り加工業を営んでいた。建物は、明治 5 年（1872）に建築された。北観音山の山鉾町に位置し、宵山時には屏風飾りを行い、往来の人々が格子越しに装飾品を眺める。
4	第 12-020 号	山科	ちのはちえもん 地野八右衛門家	おくどさんをはじめ、吹抜け、煙出しの残る農家住宅。そこに住まう人や出入りする人に合わせて建てられ、農業に携わる人の文化を伝えるものとして残していきたい。
5	第 12-021 号	下京	中野家	明和元年（1764）創業の数珠屋。建物は、明治期に建て替えられたものと伝わり、ぼったり床几も残る京町家。訪問者を癒やすこの建物を残していきたい。
6	第 12-022 号	右京	しゅううんきよ 拾雲居	大正初期に別荘として造営された。茅葺きの主屋は、梅尾山中の農家を移築したもので、小倉山を借景として建つ。離れは広間と小間を備えた茶室で、南庭から嵐山を一望できる。
7	第 12-023 号	左京	平安神宮	平安遷都 1100 年を記念して明治 28 年（1895）に第 50 代桓武天皇をご祭神として創建された。朱塗りの柱は雅やかさが感じられる。昭和 3 年（1928）に昭和天皇大礼を記念して建てられた鳥居の下を車が通るのも珍しい。
8	第 12-024 号	中京	しまだい 嶋臺	慶長 13 年（1608）に糸割符商として創業し、天明年間（1781～1789）に酒造業も始め、両業を家業とした。建物は、明治 16 年（1883）に再建された大規模な町家で、現在は貸会場、ギャラリーとして活用している。